

令和 4 年 10 月 5 日

大学院教職実践研究科教職高度化専攻 〔教職大学院〕（専門職学位課程）の設置

本学大学院教職実践研究科教職高度化専攻〔教職大学院〕（専門職学位課程）の設置報告書が、令和 4 年 10 月 4 日に受理され、学生募集活動を開始することが可能となりました。本専門職学位課程は令和 5 年 4 月に開設することとなります。設置計画の概要、目的等については、別紙資料 1 をご参照ください。

入試は令和 4 年 12 月 4 日に実施いたします。募集要項の概要は別紙資料 2、詳細は本学入試課ホームページに公表しましたので、ご覧いただきお問い合わせください。

（お問い合わせ先）

【研究科・専攻について】

教職大学院設置準備室

室長 鶴巻 正子（人間発達文化学類）

電話：024-548-8173

副室長 森本 明（人間発達文化学類）

電話：024-548-8139

副室長 鳴川 哲也（人間発達文化学類）

電話：024-548-5289

広報担当 坂本 篤史（人間発達文化学類）

電話：024-548-8122

メール：ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

URL：https://www.fukushima-u.ac.jp/
graduate-schools/Teacher/index.html

【入試について】入試課

電話：024-548-8064

メール：nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp

URL：http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/

福島大学大学院教職実践研究科教職高度化専攻（専門職学位課程）について

【設置計画の概要】

- ・教職実践研究科教職高度化専攻〔教職大学院〕（専門職学位課程）を設置する。

〔開設時期〕 令和5年4月

〔修業年限〕 2年 〔入学定員〕 12名（収容定員24名） 〔学位〕 教職修士（専門職）

【教育研究上の目的・養成する人材像】

本研究科は、今回の大学院再編により、現代の教育課題への対応力・実践力の育成を目指した「福島大学大学院教職実践研究科教職高度化専攻（教職大学院）（専門職学位課程）」として独立した。「理論と実践の往還」による実践型教員養成機能に軸足を置きつつ、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力といった資質・能力の高度化を図り、地域課題や教育課題に果敢に挑むイノベーション人材養成を目指す専攻である。

本研究科で養成する人材像は、「確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力をもって、地域課題及び教育課題に果敢に挑むイノベーション人材（高度専門職業人）としてのミドル・リーダー、次のミドル・リーダー、次世代のミドル・リーダー」である。

「ミドル・リーダー」は、10年程度以上の教職経験（学校教育法第1条に定めるもの）を持つ者である。「次のミドル・リーダー」は、3年以上の教職経験（学校教育法第1条に定めるもの）を持つ者である。「次世代のミドル・リーダー」は、教職経験（学校教育法第1条に定めるもの）が3年未満の者、あるいは学部新卒の者を指している。また、この3つの「ミドル・リーダー」は、福島県教育委員会が福島大学を含む関係大学との協議により示した「校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版】（福島県教育委員会、2022年2月策定）」における各ステージに位置づけている。

「地域課題及び教育課題に果敢に挑むイノベーション人材」の具体的な姿とは、①教育場面において、省察する実践力・高度な授業力・アクティブな理論的探究力等を備えるとともに、令和の日本型教育の実現を目指す教師、②「『福島ならではの』教育」（福島らしさ、福島を生きる教育）の視点を実現し、子供達を「自立した人間」「グローバル・リーダー」へと育てることができる教師を指している。なお、このグローバル・リーダーとは、世界の問題を意識しつつそれを地域で実現するミドル・リーダーを指している。

本研究科では、「イノベーション人材（高度専門職業人）」の養成を具現化するにあたり、次の7つの力を修得させる。

- ・日本と世界の教育改革に目を向け、福島教育課題から実践を発想・構想し、地域と学校を結びながら子供の学習を保障する新たな教職への役割を自覚する強い責任感
- ・教育や学校の課題改善に取り組むキーパーソンとしての判断力・実行力、自然・社会・文化にわたる教育内容を深く理解し授業を創造する高度な授業力、情報活用能力、データリテラシー
- ・多様性や共生を目指す社会で生きるすべての子供の人間的資質や学習の成長に目を向けつつ、教育理論を吸収し、アクティブ・ラーニングを実施し、実践を理論化しようとする能力

- ・学校種や教科・領域等を融合しながら、学校課題を的確にとらえ、より学校現場で役立つ知識や実践力、物事に柔軟に対応できる能力
- ・教職実践研究科（教職大学院）で修得した専門的知識と実践力を学校現場でいかすとともに、ミドル・リーダーとして教育や学校運営に活かす能力、授業をデザインする能力
- ・自身の実践研究の内容・意義を伝え理解を得るとともに、同僚の主張や子供・保護者のニーズを正しく汲み取る能力
- ・社会とつながるチーム学校の一員としてのマネジメント経験を積みながら、自らの教育実践を省察する力

【教育課程】

- ・専門的学修目標を明確にするために、ミドル・リーダー養成コース、授業デザインコース、特別支援教育コースを設けている。コース所属は入学後に各学生の研究課題や関心、教職経験等に基づき決定する。
- ・専任教員20名（研究者教員9名、実務家教員11名）で教育指導にあたる。
- ・理論的探究、教育の実践、理論と実践の往還、深化・展開・発展・総合を強く意識した教育課程を編成する観点から、本研究科の教育課程として「大学院基盤科目」「共通5領域」「選択領域」「学校における実習領域」「プロジェクト研究領域」を設定する。
- ・「大学院基盤科目」は、本学大学院におけるイノベーション人材（高度専門職業人）養成の基盤科目として、今回の大学院再編で新設された科目である。
- ・「共通5領域」は、教職の専門的知識や理論に焦点をあて資質・能力の向上を目指す科目である。①教育課程の編成及び実施に関する領域、②教科等の実践的な指導方法に関する領域、③生徒指導及び教育相談に関する領域、④学級経営及び学校経営に関する領域、⑤学校教育と教員の在り方に関する領域で5つの領域に区分し、当該全領域にわたって授業科目が開設されている。さらに本研究科では、「福島らしさ」「福島で生きる」という教育課題を担保する授業科目として、⑥独自領域の「福島の学校と教育課題Ⅰ・Ⅱ」を必修科目として設けている。
- ・「選択領域」は共通5領域で育成した資質・能力をさらに深化・展開・発展させる領域で、「学校改革領域科目」「授業改善領域科目」「特別支援に関する理論と実践領域科目」から構成されている。
- ・「学校における実習領域」では年間をとおして、学校における教育の実践を協力校で行う。教職キャリアに応じて、「インターンシップ領域」と「学校実習領域」から構成されている。
- ・「プロジェクト研究領域」は理論と実践の高次における統合を行う科目である。学生の興味関心に応じるため、「教育実践高度化領域」「学校課題対応領域」「特別支援教育高度化領域」から構成されている。
- ・「学校における実習領域」及び「プロジェクト研究領域」は複数の教員による指導体制をとり、入学から修了までの研究指導、年2回開催されるラウンドテーブルでの実践報告及び教育実践報告書作成までの指導を行う。

**令和5年度福島大学大学院
教職実践研究科（専門職学位課程） 学生募集要項概要**

1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
教職高度化専攻	ミドル・リーダー養成コース 授業デザインコース 特別支援教育コース	12人

2. 入試日程

○出願期間

令和4年11月8日(火)～11月11日(金) 午後5時まで

○試験日

令和4年12月4日(日)

○合格発表

令和4年12月8日(木)

3. 選抜方法

具体的な選抜方法については、「学生募集要項」を参照してください。

○学生募集要項掲載ページ

福島大学ホームページ「入試情報」-「募集要項」- 大学院（専門職学位課程）教職実践研究科
<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>

教職実践研究科（教職大学院）では

地域課題や教育課題に果敢に挑むイノベーション人材としての

ミドル・リーダーを養成します！



研究科の概要

地域課題や教育課題を認識し、新たな教育の探究により、未来を創造する、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力を身につけ、課題に果敢に挑み、その解決に寄与する人材を養成します。



教育委員会との連携

福島県教育委員会とも連携し、学校現場における課題とその解決に必要な理論を丁寧につなぎ、**学校現場での多くの実習**を積み重ねていきます。

理論と実践の往還

年に2回行うラウンドテーブルをベースとした理論と実践の往還をとおして課題の発展的な解決と実践力の向上を目指します。

経験に合わせたコース

教職経験や自らの教師像と役割に合わせた**コース別カリキュラム**が設置されています。

専攻の概要

大学院再編により、教職大学院は「教職実践研究科教職高度化専攻」として独立

ミドル・リーダー養成
コース

授業デザイン
コース

特別支援教育
コース

大学院基盤科目

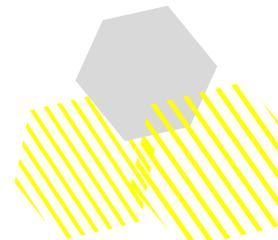
共通5領域

選択領域

学校における実習領域

プロジェクト研究領域

- イノベーション・リテラシー
- 授業デザインの理論と実際 ●福島の学校と教育課題 など
- ミドル・リーダー論と実際 ●ICTを活用した授業デザインと実際
- 教育実践研究のためのデータ処理論
- インクルーシブ教育システムと障害理解教育の実践 など
- 長期インターンシップ ●学校支援実習 など
- 学校課題対応プロジェクト研究 ●教育実践高度化プロジェクト研究
- 特別支援教育実践プロジェクト研究 など



入学定員

12名

授与する学位

教職修士（専門職）

取得可能な資格

- 👍 幼稚園教諭専修免許状
- 👍 小学校教諭専修免許状
- 👍 中学校教諭専修免許状
- 👍 高等学校教諭専修免許状
- 👍 特別支援学校教諭専修免許状
- 👍 養護教諭専修免許状
- 👍 栄養教諭専修免許状



国語、社会、数学、理科、音楽、美術、
保健体育、技術、家庭、英語

国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、
美術、保健体育、家庭、英語、農業、工業、
商業、水産、福祉